

D-2 一年後の児童の姿（平和のとりでを築く）

とことん追究！ 平和って何だろう

～平和のとりでを築く 自分の考えを発信しよう～

【単元目標】

筆者が伝えたいことを読み取り、友だちと考えを伝え合うことや、必要な資料を探し読むことを通して自分の考えを深める。自分の考えを明確にし、効果的に意見文を書くことができる。

【単元構成】

- | | |
|-----------|--|
| 第一次（つかむ） | ノートをとてがかりに、自分たちの成長や課題をとらえて単元のイメージを持ち、大まかな学習計画を作る。〈平和って何だろう？〉（ウェビング） |
| 第二次（深める） | 『平和のとりでを築く』を読み深める。
<「傷だらけの建物がたどってきた年月」とは>
<「平和のとりでを築く」で筆者が伝えたかったことは> |
| 第三次（生かす） | < 伝えたいことがより伝わる意見文の書き方は >
< 学んだことを生かして意見文を書こう > |
| 第四次（まとめる） | < 「平和って何だろう…」意見文発表会を開こう > |

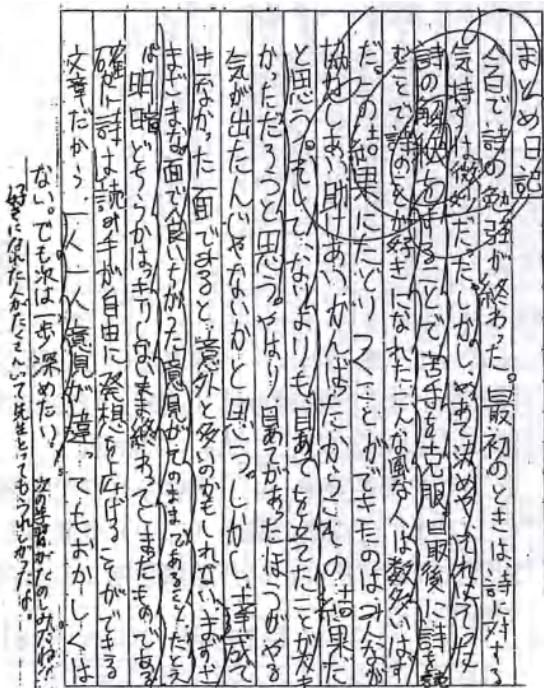
① 子ども自身が学びの「必要感」と明確な「めあて」を持つことができる単元構成。

④ 自己評価（ノートのふり返し＝学習日記）の活用。

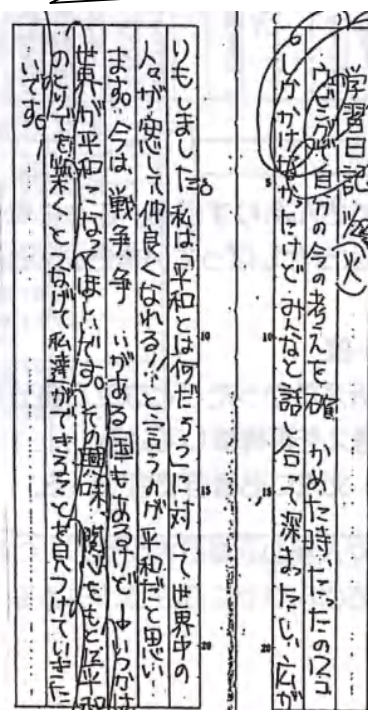
これまでの実践を通して、「表現」については、どの子も自分の考えをのびのびと意欲的に話し、力がついてきているという成果が見られた。実践の2年目に入ってから、「追究」に重点を置き、力をつけていきたいと考えた。9月に行った詩の授業を通して、「考えが深まる伝え合い」をめざしていきたいということが学級の願いとなっていたので、そこから子どもたちとこれから創っていきたい授業のイメージを話し合うことから始めた。

【ウェビングを終えての学習日記】

「平和のとりでを築く」の読み取りとつなげて私たちができることを見つけたいと述べている。何ができるかを考え、意見文を書くことになった。



食い違っていった意見が、解決されないまま話し合いが終わってしまったので、次の学習では深まる伝え合いをと願っている。



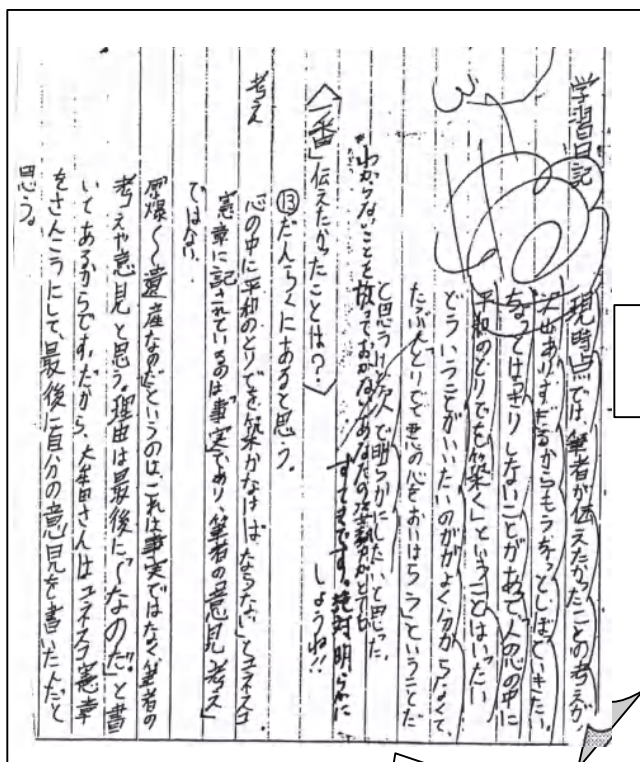
② 基礎基本を学ぶ場や学び方を習得する場、思考を深める場を設定する。

第二次 <「平和のとりでを築く」で筆者が伝えたかったことは>

1時間目の話し合いでは、13段落の1文目のユネスコ憲章の引用にとらわれ、筆者の伝えたいこととしていた児童が多くいたが、次時は文末に着目し直しながら、13段落の2文目へと結論を持っていくことができた。「追究」という自分たちの願いがあったからこそ、考えの食い違いを解決するために、ことば一つ一つに目を向け、自分の考えを伝え合うことができた。

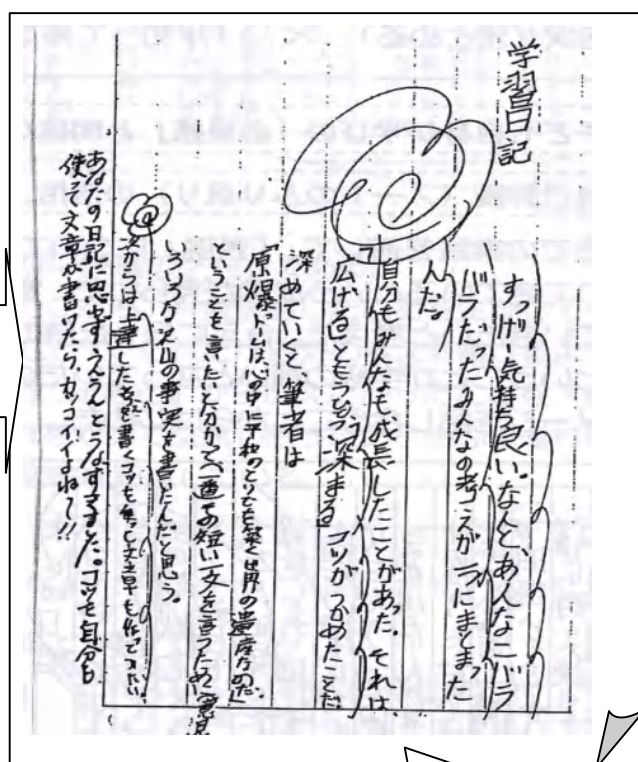
【ノートに見られる考え・思いの変容】

☆1時間目の話し合いを終えての学習日記☆



「考えがたくさんありすぎる」ことに気付
き、「もうちょっとしぼっていきたい」と考
えている。
そしてもう一度
<「一番」伝えたかったことは>と自分に
問い返し、考えを再構築している。
その際には、文末にも着目できている。

☆2時間目の話し合いを終えての学習日記☆



「すっげー気持ち良い・・・考えが一つに
まとまった」という表現から「追究」が自
分の願いになっていたことがよくわかる。
そして次時を見通し、「平和のとりでを築
く」で学んだ文章の構成（コツ）を使って
意見文を書きたいという意欲を持つことが
できている。